

第11回垂水市ふるさと 俳句コンクール入賞作品の紹介

©学校教育課 / ☎ 32-7213

教育長賞
3点

- ▶ やりきったかまんでおどり秋の空
新城小学校 6年 平良 梨夏
- ▶ 暗い朝窓の結露に朝日描く
垂水中央中学校 2年 寺澤 愛心
- ▶ 菜の花が揺らめく夜を懐かしむ
垂水高等学校 1年 江口 愛沙耶

特選
9点

- ▶ 木もれ日に黄色く光る千本イチョウ
垂水小学校 5年 柳田 峻汰
- ▶ 風ふいてあじさいたちが泣いている
水之上小学校 5年 猪俣 和希
- ▶ もちつきは祖父もしていた伝統だ
水之上小学校 5年 内田 琉稀
- ▶ 校庭で歌う背中に秋の風
柊原小学校 6年 迫田 みなみ
- ▶ いちょうの葉山を色どる力あり
柊原小学校 6年 瀬戸口 めぐみ
- ▶ 美しき花火が映る錦江湾
垂水中央中学校 1年 藤迫 奈那
- ▶ 花火背に夏色かをる君の顔
垂水中央中学校 3年 園田 未来
- ▶ たわむ竿しぶきをあげて跳ねる鯨
垂水高等学校 2年 上山 大輝
- ▶ 電線に身を寄せ合って寒雀
垂水高等学校 2年 曾山 里音

※敬称略

cotu-cotu

コッコツは
学びの始まり

俳句づくりをとおして市内の児童生徒が「ふるさと垂水」を愛する心情を培うとともに、日本語のもつ美しさや俳句のリズムを理解し、表現力を向上することを目的として、「第11回ふるさと俳句コンクール」を実施しました。市内小・中・高等学校から612人、916句の応募があり、その中から

教育長賞・特選作品をご紹介いたします。

■教育長賞選評（抜粋）
①平良梨夏さんの作品

新城地区の伝統芸能「かまんでおどり」は激しい踊りで、「やりきった」に、踊った後の荒々しい息づかいと、立派に踊り終えたという満足感がよくわかります。

②寺澤愛心さんの作品

結露をなぞり、朝日を描いたのは、茶目っ気が、それとも今から登校する自分への励みか。この作品は「暗い朝」に対し、「朝日」を描くという、積極的な働きかけが命です。

③江口愛沙耶さんの作品

この句を絵画に例えると、黄色い菜の花と、背

すべての入賞作品と講評は垂水市公式WEBサイトからご確認いただけます。



景に黒い闇が描かれています。菜の花は闇の魅力を見込みたい誘惑にかけられ、これも青春の一面をかきたてます。



新年あけまして おめでとろごぞいます



今年もシルバー世代の力を地域の皆様方のお役に立ててまいりますのでよろしくお願い致します。



会員募集中!!

垂水市に居住されている60歳以上の健康で働く意欲にあふれた会員を募集しています。ぜひ、豊かな知識・経験・技能を「たるみず」に活かしてもらえませんか。



シルバー人材センターは、公益な団体です。仕事のご依頼にあたっては、収益を目的にいたしませんので、安心して仕事をお任せいただけます。様々な場面で、皆様のお力になります。

Active Aging 働くシルバー世代を応援します

〒891-2126 垂水市南松原町42番地
TEL 0994-32-9781

公益社団法人 垂水市シルバー人材センター